



障がいのある人の雇用に取り組む



株式会社 **洛北義肢**

(京都市北区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】 義肢、装具、コルセットなどの製造業

【障がいのある方の主な仕事】 装具、コルセットなどの製作、事務など

【障がい者雇用の経緯】

会社の取扱製品が義肢装具などの障がいのある人を対象にした物であることから、ユーザー自身がこの仕事に関心を持たれ入社されることが多いです。現在、身体障がいのある3名と精神障がいのある1名が事務や製作工程で働いています。



【障がい者に優しい社風の中で】

義肢装具を製造する会社であり、元々、安全面や健康面などを重視し、作業環境測定の実施とそれに基づく設備改善と安全確保、定期健康診断と特殊健康診断の実施と産業医による健康指導、社員交流（旅行や交流会）などにより、全社員が働きやすい職場環境の整備を進めてきました。

現在、内部障がいのある2名が、受付業務と事務を担当しています。2名とも20年以上のベテランです。股関節に障がいのある人は、装具を装着して製作工程の業務を担当しています。

社内の整理整頓（6S）を推進し、社内の動線を改良し、バリアフリー化を進めました。

精神障がいのある人は、製作工程の担当ですが、現在は体調が優れず支援を行っているところです。

義肢装具はオーダーメイド、ハンドメイドでひとり一人に合わせて製造する仕事なので、自然と人に優しく面倒見の良い社員が多く、障がいのある人が働く上で最も大きな力になっています。

【Nさんに聞きました】

25年になります。心機能が弱く、2ヶ月の病休後、無理が効かないので事務職に転換してもらい徐々に復帰しました。見た目では全く分からないのですが、通院や仕事の内容で配慮していただき、働き続けることができています。

【Kさんに聞きました】

13年目になります。股関節に障がいがありますが、補高靴(装具)を薦められ装着すると、立ち仕事でも問題は無くなりました。ただ、長い距離を歩くことは出来ません。幸い、家が近く楽しく働いています。

